

## 令和元年度授業アンケートについて

教育検証部会部会長 小澤 正吾

平成 25 年度より授業改善のための授業アンケートを薬学部独自に実施している。問 1～15 の設問について、5 点を最良として学生が評価し、良かった点と改善してほしい点についても記述する。その結果は教務課が取りまとめ、講義担当者にフィードバックするとともに、講義担当者は授業アンケート報告書として、どのような点が良かったか、今後どう改善するかを報告し、全教員がその情報を共有できる体制をとっている。また、平成 28 年度から、基礎系実習科目についても授業アンケートを実習に即した設問に改訂して行っている。各実習期間中にアンケートを実施して担当者にフィードバックしている。

### 1) 講義科目授業アンケート

令和元年度は、2 学年から 6 学年までの 98 の講義科目について授業アンケートを実施した。その全体の結果を次ページに示す。授業に対する満足度（設問 15）が 3.90 であり、各設問の全体平均は 3.78～4.02 であった。概ね順調に授業が行われたと考えられる。担当者 3 名以内の科目（60 科目）では、設問全体平均の最高が 4.50（2 学年 有機薬化学 1（炭素-炭素多重結合の化学））で、講義担当者が 4 人以上の講義の各科目（22 科目）の全体平均は 3.43～4.15 であり、こちらも概ね順調に授業が行われていると判断される。

### 2) 実習科目授業アンケート

2 学年の薬学実習 1（4 分野が主催）と早期臨床体験の実習科目の授業アンケート（講義科目と同様の 15 設問）では、各設問の全体平均は 3.93～4.48 であった。3 学年の薬学実習 2（7 分野が主催）の授業アンケートでは、各設問の全体平均は 3.67～4.45 であった。これらの基礎系実習科目に対して学生は意欲的に取り組んでいたと考えられる。

また、実務系実習科目である 3 学年の看護体験実習、4 学年の薬学実習 3（2 分野が主催）と実務基礎実習についてもアンケートを実施した。各設問の全体平均は 4.00～4.18 の評価が得られており、実務系の実習にも学生が意欲的に取り組んでいる様子が窺える。

4 月の第 1 回教員総会で評価の高かった科目担当者を毎年表彰しており、令和元年度は、2 学年 有機薬化学 1（炭素-炭素多重結合の化学）（河野教授）、2 学年 環境衛生学（杉山晶規教授）、2 学年 食品衛生学（杉山晶規教授）と 1 学年 薬化学入門（河野教授）が表彰された。

令和元年度授業アンケート実施科目一覧

区分	学年	授業科目の名称	担当教員数
必修	2	機能形態学1	~3人
		物理化学1 (分子の性質と電磁波)	~3人
		微生物学	~3人
		機能形態学2	~3人
		生化学1 (タンパク質科学)	~3人
		細胞生物学	~3人
		生化学2 (エネルギー代謝)	~3人
		解剖学	~3人
		分析化学1	~3人
		天然物化学1	~3人
		有機薬化学1 (炭素-炭素多重結合の化学)	~3人
		環境衛生学	~3人
		免疫生物学1	~3人
		薬理学1 (総論、自律神経系・消化器系・循環器系・代謝系・呼吸器系の薬理)	~3人
		有機薬化学2 (炭素-ヘテロ原子単結合の化学)	~3人
		創剤学1	~3人
		生化学3 (ゲノムサイエンス)	~3人
		食品衛生学	~3人
		物理化学2 (物質のエネルギーと均衡)	~3人
		感染症学	~3人
	分析化学2	~3人	
	有機構造解析1	~3人	
	薬物動態学1	~3人	
	薬学英语1	4人~	
	早期臨床体験	4人~	
	薬学英语2	4人~	
	基礎総合講義2	4人~	
	分析化学計算演習	4人~	
	基礎総合講義1	4人~	
	臨床分析化学	~3人	
	医療薬学2 (内分泌・生殖器・感覚器・皮膚疾患の病態と治療)	~3人	
	薬物動態解析1	~3人	
	薬理学3 (免疫系・内分泌系・泌尿器系・呼吸器系・感覚器系・生殖器系の薬理)	~3人	
	創剤学2	~3人	
	物理化学3 (平衡と反応速度論)	~3人	
	放射化学	~3人	
	化学療法学1	~3人	
	免疫生物学2	~3人	
	医療薬学1 (消化器・呼吸器・骨・関節疾患の病態と治療)	~3人	
	保健衛生学	~3人	
	有機薬化学3 (炭素-ヘテロ原子多重結合の化学)	~3人	
	天然物化学2 (生薬と漢方薬)	~3人	
	薬事関係法規・制度1	~3人	
	薬物動態解析2	~3人	
	薬物送達学	~3人	
	医薬安全性学	~3人	
	医療薬学3 (血液・代謝・免疫・アレルギー・遺伝性疾患の病態と治療)	~3人	
	化学療法学2	~3人	
	毒性学	~3人	
	構造生物学	~3人	
薬理学4 (中枢神経系の薬理と神経科学)	~3人		
生体制御化学	~3人		
調剤学	~3人		
医療薬学4 (循環器・泌尿器疾患の病態と治療)	~3人		
薬物動態学2	~3人		
有機構造解析2	~3人		
応用生体防御学	4人~		
薬学英语3	4人~		

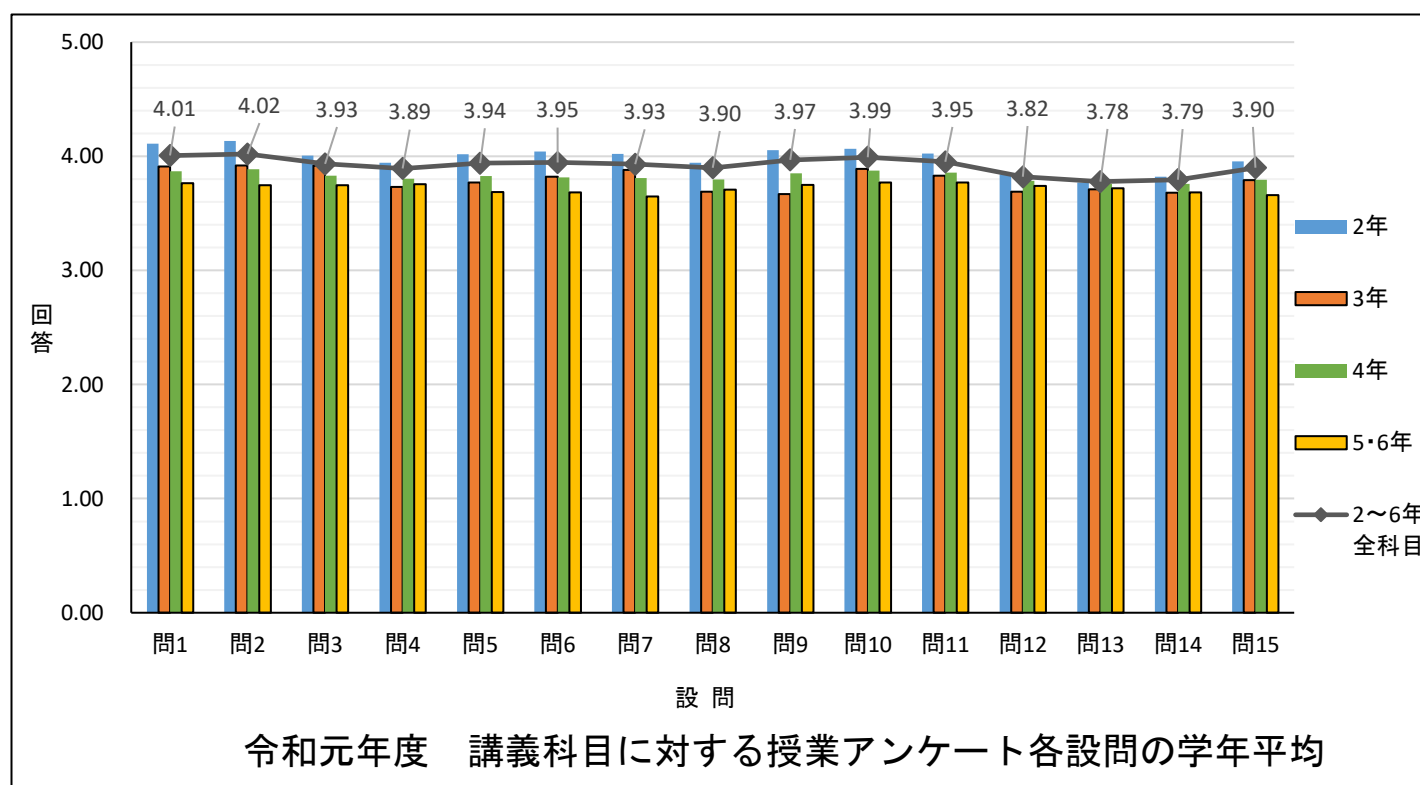
区分	学年	授業科目の名称	担当教員数
必修	4	天然物化学3	~3人
		日本薬局方概論	~3人
		医療統計学	~3人
		薬事関係法規・制度2	~3人
		実践医薬化学	~3人
		実践生化学	~3人
		医療薬学3 (血液・内分泌・生殖器疾患の病態と治療)	~3人
		医療薬学4 (循環器・中枢神経疾患の病態と治療)	4人~
		医薬情報科学	4人~
		症例・処方解析学	4人~
		臨床薬学1	4人~
		臨床薬学2	4人~
		医療倫理とヒューマニズム	4人~
		薬学生の将来~多様なキャリアと多職種連携	4人~
		実践衛生薬学	4人~
		臨床医学概論	4人~
	総合薬物治療演習	4人~	
	5	治療戦略概論	~3人
	医薬品情報セミナー	~3人	
	薬学基礎セミナー	4人~	
	6	臨床薬学総合演習	4人~
	総合講義	4人~	
	地域医療マネジメント概論	4人~	
	総合演習	4人~	
	2	薬学実習1 (組織学実習)	実習科目
	薬学実習1 (分析化学実習)	実習科目	
	薬学実習1 (生化学実習)	実習科目	
	薬学実習1 (微生物学実習)	実習科目	
	3	薬学実習2 (物理化学実習)	実習科目
	薬学実習2 (有機化学実習)	実習科目	
薬学実習2 (天然物化学実習)	実習科目		
薬学実習2 (衛生化学実習)	実習科目		
薬学実習2 (創剤学実習)	実習科目		
薬学実習2 (薬理学実習)	実習科目		
薬学実習2 (薬物代謝学実習)	実習科目		
看護体験実習	実習科目		
4	薬学実習3 (症例解析学実習)	実習科目	
薬学実習3 (フィジカルアセスメント実習)	実習科目		
実務基礎実習	実習科目		
自由科目	4・5・6	アンチドーピング	
3	放射科学実習	実習科目	
5・6	実践チーム医療論 (病棟実習)	実習科目	

## 令和元年度 講義科目に対する授業アンケート各設問の学年平均

【設問内容】	2～6年 全科目	2年	3年	4年	5・6年
問1 シラバスおよび授業の中で、授業の目標、内容、評価方法を分かりやすく示していましたか。	4.01	4.11	3.91	3.87	3.76
問2 授業はシラバスに沿って行われていましたか。	4.02	4.13	3.92	3.89	3.75
問3 授業の内容は興味や関心が持てるものでしたか。	3.93	4.00	3.92	3.83	3.75
問4 授業の内容は理解できるものでしたか。	3.89	3.94	3.73	3.80	3.76
問5 配付資料、教科書などの教材は適切でしたか。	3.94	4.02	3.77	3.83	3.69
問6 板書やパワーポイントなどは適切でしたか。	3.95	4.04	3.82	3.82	3.68
問7 時間配分など、授業の進め方は適切でしたか。	3.93	4.02	3.88	3.81	3.65
問8 教員の説明は分かりやすかったですか。	3.90	3.94	3.69	3.80	3.71
問9 教員の話し方(言葉や声の調子など)は適切でしたか。	3.97	4.05	3.67	3.85	3.75
問10 教員の熱意が伝わってきましたか。	3.99	4.07	3.89	3.87	3.77
問11 教員は効果的に学生の参加(発言、自主的学習、作業など)を促しましたか。	3.95	4.02	3.83	3.86	3.77
問12 あなたは、質問、発言、自習などにより、この授業に積極的に取り組みましたか	3.82	3.84	3.69	3.78	3.74
問13 あなたは、授業に対して予習と復習を積極的に行いましたか。	3.78	3.77	3.71	3.76	3.72
問14 あなたは、シラバスの目的を達成できたと思いますか。	3.79	3.82	3.68	3.76	3.68
問15 この授業は全体として満足できるものでしたか。	3.90	3.96	3.79	3.79	3.66

※5・6年生は実施科目数が少ないため統合して集計。

※実習科目以外の前・後期専門科目。(2学年教養4科目は除く)



## 総合評価 上位3科目

### 講義担当教員 3名以内

学年	科目名	所属	教員名	平均点	平均点(3名以内全科目)
2	有機薬化学1(炭素-炭素多重結合の化学)	創薬有機化学分野	河野 富一 教授	4.50	3.97
2	環境衛生学	衛生化学分野	杉山 晶規 教授	4.33	
		衛生化学分野	川崎 靖 助教		
2	食品衛生学	衛生化学分野	杉山 晶規 教授	4.31	
3	有機薬化学3(炭素-ヘテロ原子多重結合の化学)	創薬有機化学分野	河野 富一 教授	4.31	

### 講義担当教員 4名以上

学年	科目名	所属	教員名	平均点	平均点(4名以上全科目)
2	薬学英語2	神経科学分野	駒野 宏人 教授	4.15	3.78
		生体防御学分野	白石 博久 特任講師		
		外国語学科英語分野	ジェイムズ ホブズ 教授		
		薬物代謝動態学分野	幅野 渉 准教授		
4	実践衛生薬学	衛生化学分野	杉山 晶規 教授	4.03	
		衛生化学分野	川崎 靖 助教		
		薬剤治療学分野	三部 篤 教授		
		薬剤治療学分野	手塚 優 助教		
		兼任講師	1名		
		非常勤講師	2名		
2	基礎総合講義2	機能生化学分野	中西 真弓 教授	3.94	
		神経科学分野	駒野 宏人 教授		
		生体防御学分野	大橋 綾子 教授		
		薬学教育学分野	奈良場 博昭 教授		
		衛生化学分野	杉山 晶規 教授		
		衛生化学分野	川崎 靖 助教		
		分子細胞薬理学分野	弘瀬 雅教 教授		
		分子細胞薬理学分野	丹治(斉藤) 麻希 助教		
情報薬科学分野	西谷 直之 教授				